

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の評価・分析

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
③学校と家庭 の課題	放課後等にお ける多様な体 験活動	「新・放課後子ども総合プラン」 に基づき、児童の安心・安全な 居場所の提供や地域住民によ る学びの提供を目的とした放 課後子供教室と適切な遊びや 生活の場を提供する児童ク ラブの連携強化に取り組む必要 がある。	市広報などを通じた、活 動紹介や協働活動サ ポーター募集や研修の 実施、市内を5ブロックに 分け教員経験のあるアド バイザーを配置し、協働 活動サポーターの活動を 支援している。	・放課後子供教室の協働活動サポーター と放課後児童クラブの支援員が連携し、 課題の共有や共通プログラムの作成な どに取り組めるよう、定期的な協議や研 修の機会を設ける。 ・学校施設の有効活用について教育委 員会事務局と情報を共有し、連携して取 り組む。 ・児童一人ひとりの状況に応じた学びの プログラムが提供できるよう実施環境や 支援体制などについての調整を図る。	全ての児童が放課後子供教室 の学びのプログラムに参加でき る環境をつくるため、放課後子 供教室と児童クラブを同一の小 学校内等で実施するなど、両事 業を一体的に推進する。 第2期周南市子ども・子育て支 援事業計画により、令和6年度 までに現状維持しながら18か所 設置を目標値としている。	放課後子供教室と児 童クラブの校内交流 型教室数	17	校	18	17	合同研修会の開催などにより、協働活動サポーター・児童ク ラブ職員の連携強化のための取り組みを実施したが、両制 度の実施場所等の関係から、教室数については現状維持 はできているものの、増加には至らなかった。引き続き、特 に単独実施となっている教室について、一体的な推進が可 能であるかを検討していく。
③学校と家庭 の課題	02 放課後等 における多様 な体験活動	(背景・現状)放課後子供教室 は、地域のボランティアである 協働活動サポーターが地域の 実情に応じ、プログラムの企画 や児童の募集、教室の運営を 主体的に行っているが、人材 不足による教室の実施回数が 減少している。(R4:794→R5: 778、1月末現在) (課題)運営に携わる人材確保 や人材育成が必要である。	市広報などを通じた、活 動紹介や協働活動サ ポーター募集や研修の 実施、市内を5ブロックに 分け教員経験のあるアド バイザーを配置し、協働 活動サポーターの活動を 支援している。	・教室間の情報共有をする。 ・多様な活動や児童と協働活動サポ ーターが安全に活動できるように研修の充 実を図る。 ・サポーターの負担を減らし、児童が多 様な体験ができるように外部講師の紹介 をする。 ・高校生、大学生ボランティアの活用す る。	教室の実施回数を増やし、多様 な体験をする児童を増加させ る。	放課後子供教室の 参加児童数(延べ)	11044	人	14000	10192	児童数の減少などの要因により、参加児童の実数が減少し ていることも実績値の減少に影響しているものと考えられ る。引き続き、魅力あるプログラム作りの企画を進めるなど 教室自体の質の向上をはかっていくが、別の指標への変更 についても検討を行いたい。